

SNSをきっかけとして、著名人を名乗る、つながりがあるなどと勧誘される金融商品・サービスの消費者トラブルが急増 ーいったん振込してしまうと、被害回復が困難です！ー

「〇〇(著名人)が主催する投資の勉強会」「〇〇(著名人)が投資のノウハウを教える」「〇〇(著名人)と知り合いで儲かる」などと勧誘し、投資名目で振込をしたものの、「追加費用を支払わないと出金できないと言われた」「相手と連絡が取れなくなった」などといった被害が発生しています。

全国の消費生活センター等に寄せられた相談件数は、2023年度は、2022年度の約9.6倍と急増しています。また、平均契約購入金額も高額化しています。SNS上の広告をきっかけに投資グループに誘われることが多く、いったん振込してしまうと被害回復が難しいといった特徴があります。

主な相談事例

【事例1】有名経済評論家の投資相談に参加したところ、アシスタントを名乗る人に次々に投資を勧められ、総額1,500万円を振り込んだが出金できない

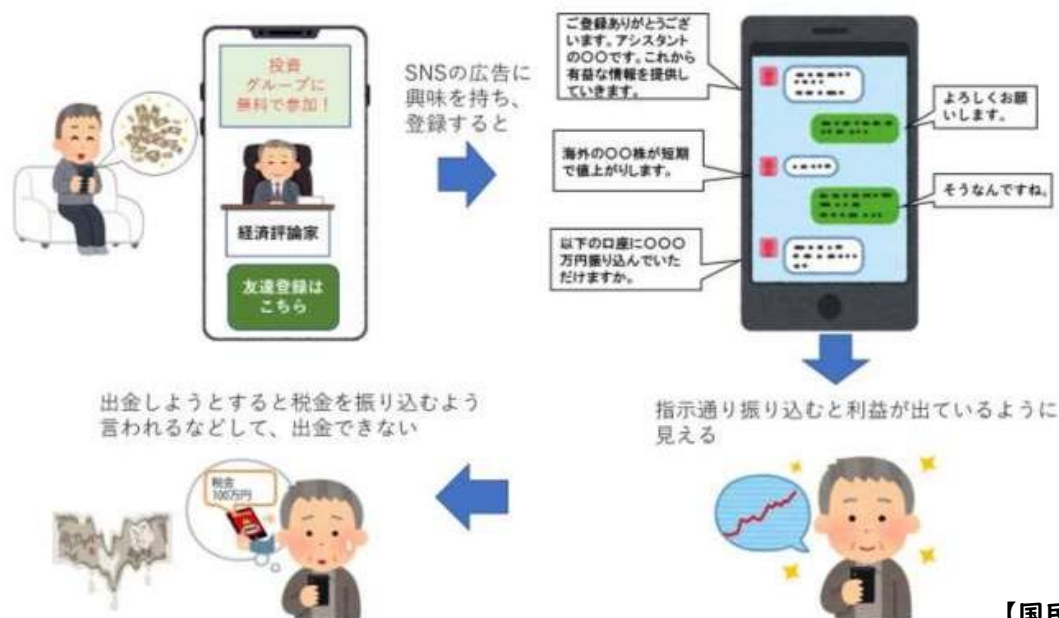
【事例2】「絶対に負けない投資家を知っていて自分も投資で儲かった」という有名投資家の姪から勧められてFX取引を始めたが、連絡が取れなくなった

相談事例から見る問題点

- ①「著名人が投資を勧めている」「著名人と知り合い」など、著名人の知名度や実績、権威を悪用した勧誘が横行している
- ②SNS上の広告について、広告審査が十分に機能しているとは評価しにくい
- ③「投資」として振り込むため、高額になりやすい(平均契約購入金額が約644万円)

消費者へのアドバイス

- ①SNS上で勧誘を受けた場合は、まず疑ってみるようにしましょう
- ②投資資金の振込先に個人名義の口座を指定された場合、それは詐欺です。振り込まないでください
- ③被害回復が難しいため、安易に投資資金を振り込むことは控えましょう
- ④不審に思ったら、すぐに消費生活センター等に相談しましょう



【国民生活センター】

★クイズ★家計の中で食費が占める比率、食品ロスとの関係は？

6月は「食育月間」食品ロスなどで食費を無駄にしまうこと、ありませんか？そこで問題です！

問題：家庭で支払うお金のうち、食べるもののために支払う割合を何というでしょう？

- ① エンゲル係数
- ② エンジェル係数
- ③ フードファディズム
- ④ 食糧自給率



※答えは裏面

困ったとき、心配になったときは、**消費者ホットライン**

い や や
188

最寄りの消費生活センターや消費生活相談窓口をご案内し、消費生活相談の最初の一步をお手伝いします。

会員登録時に注意！意図せず別サイトに誘導され、サブスク契約してしまうトラブル
—その「スタート」ボタン、実は海外事業者の広告かも！？—

意図せず別サイトに誘導され、サブスク契約してしまうトラブル

その「スタート」ボタン

海外事業者の広告かも！？



事例

サイトで会員登録しようと「スタート」を押して移動した画面にクレジットカード情報などを入力したら、「5日間の無料期間後、月額約7,500円かかる」と表示された。

実は…
別事業者の広告！
クリックしないで！

海外事業者とのトラブル相談は、
「188」に電話、また越境消費者センター（CCJ）へ！



徳島県消費生活センター

2024.05

国民生活センター越境消費者センター（CCJ）には、国内事業者のサイトを利用して表示された「スタート」、「OK」、「今すぐ視聴する」などのボタン表示をクリックしたところ、意図せず、海外事業者とサブスクリプション契約となっていた、との相談が寄せられています。

相談事例

【事例1】国内のオンラインストレージサービスの利用手続きをしたつもりが、知らない海外事業者から登録完了のメールが届き、サブスク契約してしまったことに気づいた。解約したい。

【事例2】会員カードを更新しようと、「スタート」ボタンから手続きをしたら、身に覚えのない契約内容が表示され海外サイトに登録してしまったようだ。事業者の連絡先がわからない

消費者へのアドバイス

- ①「スタート」等が表示されても、広告ではないかを確認しましょう
- ②登録完了メールが届いていないか確認しましょう。また、クレジットカードの請求をこまめに確認しましょう
- ③事業者への申し出の方法がよくわからない場合や不安に思った場合にはすぐに消費生活センター等に相談してください

【国民生活センター】

《コラム》サウナでととのう！

～県消費者法務専門員：中川まな美（弁護士）～

みなさんは、サウナは好きですか？

サウナは、みなさんご存じのとおり、フィンランド発祥の蒸し風呂です。日本では以前は、中高年の男性が多く利用しているイメージがありましたが、数年前からサウナ人気がじわじわ高まってきて、現在では、老若男女問わず、サウナ好きの方がいらっしゃいますね。サウナ→水風呂→外気浴を繰り返すと、心身ともにリラックスした「ととのう」状態になると言われています。

ところで、サウナ人口が増えている今、サウナによる事故も増えているようです。消費者庁の事故情報データベースによりますと、過去10年間でサウナに関する一番多い受傷内容はやけどで、そのほかには、転倒等による切り傷、擦り傷、骨折、打撲といった事例もあります。また、外傷だけではなく、めまい、意識障害、循環器障害といった事例もあります。

サウナは、体に強い刺激を与えるものなので、絶対に無理をしてはいけません。「我慢をして長い時間入ると後でいいことがある」なんて思いがちですが、やけどをしたり、脱水症状を起こしたりするなど、とても危険です。また、サウナに水風呂はつきものですが、実は、サウナを出た直後に急に水風呂につかると、血圧が上がってしまい、中高年は特に危険です。水風呂には必ずしも入らなくてもいいのです。

サウナは、自分の体調と相談しながら、こまめに水分をとり、無理なく利用しましょう。

★クイズの答え 正解：①

ドイツの学者エンゲルが、家庭で支払うお金のうち、食べるもののために支払う割合は、生活が豊かになると小さくなると言ったことから、エンゲル係数と言います。所得に関係なく、「エンゲル係数」が高い場合も、「必要なものを買う」「買った物を使い切る」「在庫を把握」の食品ロス対策で、エンゲル係数を下げられます。

お問い合わせ先：徳島県消費者情報センター

〒770-0831 徳島市寺島本町西1丁目5番地 アミコビル東館 7階

・相談電話 ☎ 088-623-0110 ・啓発受付 ☎ 088-625-8285

・事務担当 ☎ 088-623-0612 ・ファクシミリ 📠 088-623-0174

【電子メール】 t-shouhi@mail.pref.tokushima.lg.jp

【ホームページ】 <https://www.pref.tokushima.lg.jp/shohi/>

